

『熊谷の子どもたちは、これができます！』

4つの裏側 アクセル

- ①朝ごはんをしっかり食べる。
- ②呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする。
- ③「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- ④友だちをたくさんつくる。

3減運動 プレーキ

- ①テレビの時間を減らします。
- ②ゲームの時間を減らします。
- ③スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします。

別府小だより

No. 4

平成29年6月27日



学校教育目標
高い目標と自律、共生の心を持った児童の育成
進んで学習する子 他人を思いやる子 体力・活力のある子

「頑張ったからできた！」という経験 ～仏様の指

熊谷市立別府小学校長 堀越 尊夫

梅雨にしてはあまり雨が降らず、別府小学校のプールからは毎日のように子どもたちの歓声が響いています。お蔭様でここまで今年度も順調に教育活動を推進することができており、明るく元気な子どもたちが育っています。前期前半のまとめをしっかり行い、充実した夏休みが過ごせるよう指導していきたくと考えます。

ところで、1ヶ月前のことになりますが、本校で熊谷市教育委員会と北部教育事務所の合同訪問があり、全学級の授業を見てご指導いただきました。どの学級も子どもたちが生き生きと真剣に学び、素晴らしい授業が展開されているとお褒めいただきました。

そのときのご指導の中で、北部教育事務所の大澤聡指導主事様から、「仏様の指」のような指導も必要であるというお話をいただきました。「仏様の指」とは、大村はま先生が『教えるということ』という著書の中で述べられている次のようなお話です。

あるとき、仏様が道端に立っていらっしゃった。すると、一人の男が荷物をいっぱい積んだ車を引いて通りかかった。しかし、大変なぬかるみにはまってしまい、懸命に引いても車は動かない。汗びっしょりになって男は苦しんでいた。

その様子をしばらく見ていらっしゃった仏様は、ちょっと指でその車にお触れになった。その瞬間、車はすっとぬかるみから抜けて、からからと男は引いていった。

この男は御仏の指の力にあずかったことを全く知りません。自分が努力して、ついに引くことができたという自信と喜びでその車を引いていったのでしょう。大村先生は「もしその仏様のお力によってその車が引き抜けたことを男が知ったら、男は仏様にひざまずいて感謝したでしょう。けれども、それでは男の一人で生きていく力、生き抜く力は何分の一かに減っただろうと思います。」と述べておられます。

子どもたちも日々頑張っていて、いろいろなことができるようになっていきます。指がマメだらけになっても鉄棒に挑戦して逆上がりができるようになったとか、何度も転びながらも自転車に乗れるようになったとか、そういった経験が非常に大事だと思います。周囲の支えや励ましももちろん必要ですが、「自分で頑張ったからできた！」「あきらめずにやれば、きっとできる！」という経験が、将来困難にぶつかっても「ぬかるみ」にはまっても乗り越えていける力になると考えます。前号でも書きましたが、子どもたちはいつかは自分の力で生きていかななくてはならないのです。

さて、もうじき長い夏休みを迎えます。子どもたちにさまざまな体験をさせるチャンスです。親子で一緒にやるのもいいことですが、何でもやってあげるのではなく、自分の力でやり遂げた達成感、成就感も味わわせてください。そのような自信や喜びを積み重ね、先行き不透明な社会においても力強く生き抜いていける人になってほしいと願っています。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

天候の急変に伴う児童の留め置きについて

7月は大気が不安定となり天候が急変することが増えると思います。今後、天候の急変が児童の下校時刻と重なった場合、児童を学校に留め置き、保護者の方に引き取りをお願いすることも考えられます。御協力をお願いいたします。

天候急変時の対応 (天気の様子[積乱雲 雷鳴 雷光 降雨]、インターネットの気象情報により、児童を下校させることが危険と判断した場合)

①メール配信(児童の留め置き)
安全が確認できるまで児童を留め置くことをお知らせする。
児童は、教室で待機する。

②保護者への児童の引き渡し
迎えに来られた保護者に児童を引き渡す。

③メール配信(地区別下校)及び地区別下校
安全が確認されたら学校に留め置きしている児童を地区別に担当職員が引率して下校させる。

夏季休業中の熱中症への対応について

夏季休業中にプール開放や図書室開放等で児童が学校にいるときに、熱中症指数が「5・危険」となった場合、児童を室内で待機させます。(プール指導は打ち切ります)。また、児童が歩いて下校するのは熱中症の危険があるため、保護者の方へお迎えに来ていただくようメール配信します。迎えが来るまでは学校に留め置きます。